

エコアクション21環境活動レポート 第11版

(2017年3月～2018年2月実績報告)



2018年4月10日 作成
東海冷熱工業株式会社

目次

- 1 組織の概要
- 2 認証・登録の範囲
- 3 環境方針
- 4 環境目標
 - (1) 環境への負荷の状況
 - (2) 環境への取組の状況
 - (3) 環境目標
- 5 環境活動計画
 - (1) 環境への取組の状況
 - (2) 環境活動計画
- 6 環境目標の実績
 - (1) 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況
- 7 活動計画の取組結果
- 8 問題の是正処置・予防処置及びその結果
- 9 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- 10 環境上の緊急事態の想定、予防策
 - (1) 発電機の取扱いに関する環境上の対策・予防措置について
- 11 代表者による全体の評価と見直し

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

- ・事業所名 東海冷熱工業株式会社
- ・代表者名 辻村 勝

(2) 所在地

- ・本社事業所 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1369番地
- ・和地事業所 静岡県浜松市西区和地町3164番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・環境管理責任者名 鈴木 勇次
- ・担当者名 矢五田 宏恵
- TEL 053-465-5355
- FAX 053-465-5352
- mail mttoukaireinetu@carol.ocn.ne.jp

(4) 事業の概要

設立年月 昭和60年 6月8日
資本金 20,000千円

認証・登録証

- ①管工事業、電気工事業 建設業許可番号 静岡県知事許可(般一28)第22949
- ②<静岡県>男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体登録
- ③インターンシップ制度活動事業

営業種目

- ・空調装置設備工事
- ・恒温恒湿装置設備工事
- ・冷凍、冷蔵庫装置設備工事
- ・冷媒配管設備工事
- ・太陽光発電設備工事
- ・ガスエアコン(GHP,KHP)設備工事
- ・フロンガス回収、無害化破壊処理
- ・工業、農事用冷却装置設備工事
- ・保守点検整備工事

【設計・施工・保守メンテナンス】

(5) 事業の規模

	単位	2015年	2016年	2017年
売上高	百万円	172	262	2558.082
従業員	人	14	13	14
床面積	m ²	668.25	668.25	668.25
(和地事業所)	(m ²)	508.63	508.63	508.63
(本社工場)	(m ²)	115.08	115.08	115.08

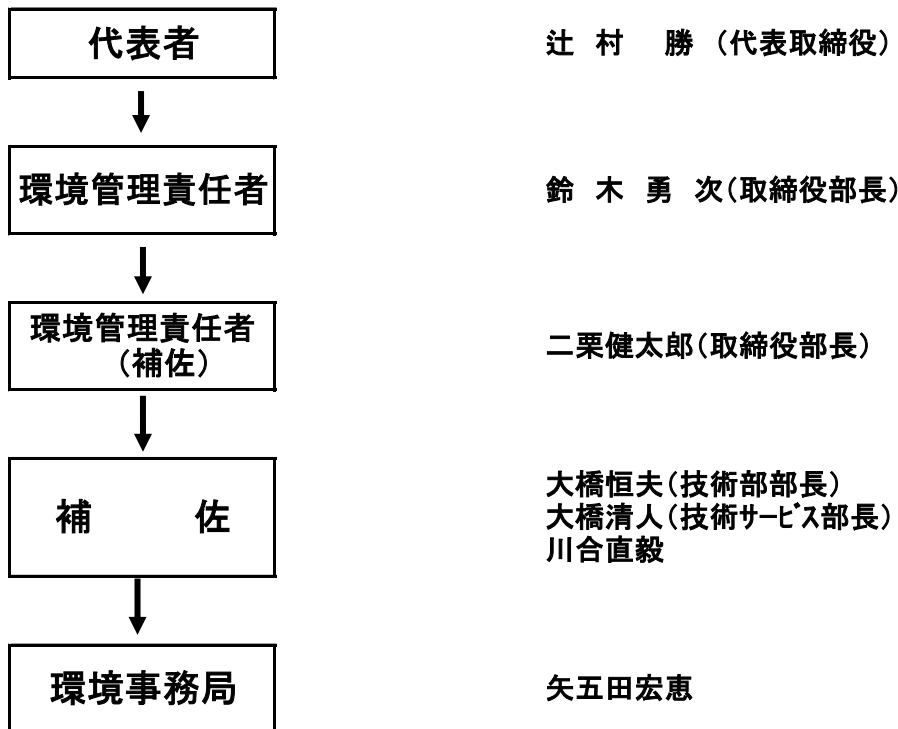
2. 認証・登録の範囲

対象組織: 東海冷熱工業株式会社 本社事業所、和地事業所

対象活動: 管工事業(冷凍、空調施設)及び電気工事業(再生可能エネルギー 発電設備)の設計・施工・メンテナンス並びにフロンガスの回収作業

エコアクション21〈組織体〉

東海冷熱工業株式会社



担当者	業 務 内 容
代表 (辻村 勝)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な環境マネジメントを実施する為に役割、責任、及び権限を定め各自が認識できる組織体制を従業員に周知する。 ・ 環境管理責任者を任命しEA21の運用における責任と権限を与える。 ・ 定期的にエコアクション21全体の取組状況を評価し、全体的な見直しを実施し必要な指示を行う ・ EA21の実施及び管理に必要な人員、設備、費用等を準備する。 ・ 環境方針を制定する
環境管理責任者 (鈴木勇次)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針に基づく目標の設定及び推進確認。 ・ エコアクション21の運用状況等を代表者に報告する ・ EA21システムの円滑な運用。 ・ 各データの取りまとめ、レポート、文書等の作成及び管理。 ・ 社長への進捗状況並びに実績の報告、連絡、相談。 ・ 補佐、従業員への協力要請、並び指示。
環境管理責任者補佐 (二栗健太郎)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐 ・ 事業所と現場との調整
補佐 (大橋恒夫)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐 ・ 現場サイトでの取りまとめ
補佐 (大橋清人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐 ・ EA21の書類関係の保管
補佐 (川合直毅)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐 ・ EA21の書類関係の保管
環境事務局 (矢五田宏恵)	<ul style="list-style-type: none"> ・ EA21システムの円滑な事務的サイドよりのサポート
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ EA21活動の適切な実践

3. 環 境 方 針

【基本理念】

東海冷熱工業株式会社(以下当社という)は、社会の一員として地球環境を守ることの重要性を認識して、行動指針を制定して環境保全に努めます。

【行動指針】

当社は、冷凍、空気調和設備工事及び販売の事業活動において環境に与える影響を少なくするために、以下の環境保全活動を推進します。

- ① 事業活動において、資源を大切にして省エネルギーや資源循環などに取り組みます。
- ② 環境汚染を未然に防止しながら環境に配慮した経営を継続し常に改善します。
- ③ 環境関連法令(フロン排出抑制法等)を遵守します。
- ④ 次の事項を、重点的なテーマとして、環境目標を設定し、必要に応じて見直し、効果的な取り組みを行います。
 - ア・ 二酸化炭素排出量を削減します。
 - イ・ リサイクル率の向上に努めます。
 - ウ・ 節水に努めます。
 - エ・ 商品、備品、車両等のグリーン購入を推進いたします。
- ⑤ 環境にやさしい再生可能エネルギー事業及び冷凍、空気調和設備の普及に努めます。
- ⑥ 行政や地域における環境保全活動に対し積極的に参画し、地域との融和を図ります。
- ⑦ 環境方針を全ての従業員に周知徹底し、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
- ⑧ この環境方針及び環境活動レポートは、社外の人にも公開します。

制定 2007年 9月26日
改定 2012年 5月1日
東海冷熱工業株式会社
代表取締役 辻村 勝

4. 環境目標

(1) 環境への負荷の状況(事業所及び現場)

環境への負荷		単位	2015年	2016年	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	38051	37679	
	()	kg-CO ₂			
	()	kg-CO ₂			
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	t	2.46	2.42748
		()	t		
		最終処分量	t	0	
		再資源化率	%	100.00%	100.00%
	産業廃棄物	再資源化量	t	23.09	36884
		(中間処分)	t		4.87
		最終処分量	t	0	0
		再資源化率	%	81.30%	88.34%
③-1 総排水量	公共用水域	m ³	0		
	下水道	m ³	170	143	
③-2 水使用量	上水	m ³	170	143	
	工業用水	m ³	0		
	地下水	m ³	0		
④ 化学物質使用量	冷媒ガス	kg	290	130	
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	16674	17806	
	化石燃料	MJ	444988.83	434465	
	新エネルギー	MJ	0		
	その他	MJ	0		
⑥ 資源等使用量	資源使用量	t	1.339207	0.63	
	循環資源使用量	t	6.391223	4.19	
⑦ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等	t	0.5	1.2814	
	環境負荷低減に資する製品等	t	11.6	11.6	

(2) 環境への取組の状況

施策		チェック結果の点数	満点の点数	実施度合 (%)	実施度合いの低い項目
1. 事業活動へのインプットに関する項目	1) 省エネルギー、新エネルギー使用の拡大	79	106	75	建設機械等の自主点検・環境に配慮した使用、冷暖房の環境に配慮した使用
	2) 省資源	35	40	88	残余資材の発生防止対策及び再使用の具体策、事務書類等の簡素化、ペーパーレス化
	3) 節水、水の効率的な使用	12	12	100	雨水の利用、水道配管の漏水点検
	4) 化学物質使用量の抑制、管理	10	10	100	有害性のある化学物質の環境に配慮した使用
小計		136	168	81	
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	1) 温室効果ガスの抑制、大気汚染の防止	20	20	100	建設機械等の自主点検、現場移動時の燃料消費をおさえる取組の方法
	2) 廃棄物の排出抑制、リサイクル	75	92	82	在庫数量の適正化、商品・製品購入時の簡易包装等の選択、食品残渣のリサイクル
	4) その他生活環境に係る保全の取組み	4	4	100	生活環境に影響の少ない現場作業方法の取組
小計		99	116	85	
3. 製品およびサービスに関する項目	1) グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入、使用）	2	2	100	環境に配慮した建設資材等の購入時の検討、社用車の環境に配慮した使用
	2) 施工、販売、提供する製品、及び環境配慮	54	62	87	社用車の自主点検、環境に配慮した商品等の積極的な提案
小計		56	64	88	
4. その他	2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	2	4	50	地域、外部への積極的な参加
小計		2	4	50	
合計		293	352	83	

※1・・・APFとは通年エネルギー消費効率(Annual Performance Factor)のこと。

(3)環境目標

重点項目	ベンチマーク		中期環境目標			備考
	2016年度実績	基準(指標)	2017年度	2018年度	2019年度	
二酸化炭素排出量の削減	総量の目標					
①購入電力削減	排出量:電力(kg-CO ₂) 8,654 kg-CO ₂	排出量/完工高 33.03 kg-CO ₂ /百万円	1% 削減する			
②化石燃料削減	排出量:kg-CO ₂ ガソリン・軽油 26,763 kg-CO ₂ LPG・灯油 2,263 kg-CO ₂	排出量/完工高 102.15 kg-CO ₂ /百万円 8.64 kg-CO ₂ /百万円	1% 削減する 1% 削減する			
産業廃棄物のリサイクル率向上	リサイクル総量 44t (全体の89%)	リサイクル総量/産廃総量	産廃総量の内70%超のリサイクル			
事業所の節水			節水に努める			
環境にやさしい省エネ機器の提案	受注物件数 70 件	件数 / 件数 70/70	機器受注物件数の98%超を目指す			
化学物質使用量の削減 (フロンガスR22)			使用量の削減に努める			
グリーン購入の推進			・購入時はグリーン購入に配慮する。			

5.環境活動計画

(1)環境活動計画

重点項目	具体的な取組内容	期間	責任者
二酸化炭素排出量の削減			
①購入電力削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機(EHP)及び空調の管理を徹底する(保守点検、適温化、運転時間等) ・ブライトを効率良く使用し室内温度の適正化を図ると同時に事務所内の明るさをも考慮していく ・PCの効率良い使用、帰宅時主電源OFF ・事務作業の効率化、分担を図る 	冷房:6月~9月 暖房:11月~3月 年間通じて常に 〃 〃	二栗
②化石燃料削減	ガソリン・軽油 <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブを推進する(タイヤ空気圧の適正圧力、アイドリングをしない等) ・会社・現場間の往復において「ついで」の用事、作業を細かく行っていく ・現場への相乗り ・自転車通勤の推奨 LPG(GHP、給湯)・灯油 <ul style="list-style-type: none"> ・空調機(GHP)及び空調の管理を徹底する(保守点検、適温化、運転時間等) ・ブライトを効率良く使用し室内温度の適正化を図る ・電気ポットは使用せず、魔法瓶の特性を生かした使用に心掛ける 	〃 〃 〃 〃 〃 〃	大橋恒夫
産業廃棄物のリサイクル率向上	<ul style="list-style-type: none"> ・産廃の分別の徹底 ・種類別の分別箱の設置 ・現場で廃材等を分別する 	〃	鈴木 大橋清人
事業所の節水	<ul style="list-style-type: none"> ・元バルブを絞る ・垂れ流しをしない ・洗濯機(2槽式)の効率的な使用をする ・洗濯物をまとめて洗う 	〃 〃 〃 〃	二栗
環境にやさしい省エネ機器の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器(高APF機器)への更新及び新規購入の提案 ・太陽光発電の推進 	〃 〃	二栗 大橋清人 鈴木
化学物質使用量の削減(フロンガスR22)	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の更新には多額の費用が発生し、2020年には生産が原則全廃されることを改めて説明し、設置先担当者との密な相談を行い機械の更新を行っている 	〃	〃
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・商品、備品及車両等の購入時はグリーン購入 	〃	二栗

6. 環境目標の実績

(1) 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況

重点項目	目標	実績	比較グラフ																
<p data-bbox="353 373 510 427">購入電力削減 kg-CO₂/百万円</p> <p data-bbox="136 564 712 619">※CO₂排出量の算出には中部電力(株)の平成29年度 実排出係数0.485kg-CO₂/kwhを用いました。</p>	32.70	32.34	<p data-bbox="1144 261 1765 316">二酸化炭素排出量(購入電力)</p> <table border="1" data-bbox="1055 549 1816 715"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標 前年 1kg-CO₂/百万円削減</td> <td>42.398</td> <td>39.254</td> <td>32.699</td> </tr> <tr> <td>購入電力 kg-CO₂</td> <td>39.651</td> <td>33.029</td> <td>32.341</td> </tr> <tr> <td>完工高 百万円</td> <td>209</td> <td>262</td> <td>292</td> </tr> </tbody> </table>		2015年	2016年	2017年	目標 前年 1kg-CO ₂ /百万円削減	42.398	39.254	32.699	購入電力 kg-CO ₂	39.651	33.029	32.341	完工高 百万円	209	262	292
	2015年	2016年	2017年																
目標 前年 1kg-CO ₂ /百万円削減	42.398	39.254	32.699																
購入電力 kg-CO ₂	39.651	33.029	32.341																
完工高 百万円	209	262	292																
<p data-bbox="331 1005 533 1085">化石燃料削減 (事業所+建設現場) kg-CO₂/百万円</p> <p data-bbox="389 1171 474 1276">ガソリン 軽油 LPG 灯油</p>	109.68	102.68	<p data-bbox="1128 900 1771 954">二酸化炭素排出量(化石燃料合計)</p> <table border="1" data-bbox="1055 1203 1816 1401"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標 前年 1kg-CO₂/百万円削減</td> <td>104.198</td> <td>140.987</td> <td>109.677</td> </tr> <tr> <td>化石燃料合計 kg-CO₂</td> <td>142.411</td> <td>110.785</td> <td>102.677</td> </tr> <tr> <td>完工高 百万円</td> <td>209</td> <td>262</td> <td>292</td> </tr> </tbody> </table>		2015年	2016年	2017年	目標 前年 1kg-CO ₂ /百万円削減	104.198	140.987	109.677	化石燃料合計 kg-CO ₂	142.411	110.785	102.677	完工高 百万円	209	262	292
	2015年	2016年	2017年																
目標 前年 1kg-CO ₂ /百万円削減	104.198	140.987	109.677																
化石燃料合計 kg-CO ₂	142.411	110.785	102.677																
完工高 百万円	209	262	292																

6. 環境目標の実績

(1) 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況

重点項目	目標	実績	比較グラフ																
化石燃料削減 (事業所+建設現場) kg-CO ₂ /百万円 ガソリン 軽油	101.13	95.16	<div style="text-align: center;"> <h3>二酸化炭素排出量(ガソリン・軽油)</h3> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標 前年 1kg-CO₂/百万円削減</td> <td>96.637</td> <td>132.946</td> <td>101.128</td> </tr> <tr> <td>ガソリン・軽油 kg-CO₂</td> <td>134.289</td> <td>102.149</td> <td>95.162</td> </tr> <tr> <td>完工高 百万円</td> <td>209</td> <td>262</td> <td>292</td> </tr> </tbody> </table> </div>		2015年	2016年	2017年	目標 前年 1kg-CO ₂ /百万円削減	96.637	132.946	101.128	ガソリン・軽油 kg-CO ₂	134.289	102.149	95.162	完工高 百万円	209	262	292
	2015年	2016年	2017年																
目標 前年 1kg-CO ₂ /百万円削減	96.637	132.946	101.128																
ガソリン・軽油 kg-CO ₂	134.289	102.149	95.162																
完工高 百万円	209	262	292																
化石燃料削減 (事業所+建設現場) kg-CO ₂ /百万円 LPG 灯油	8.55	7.52	<div style="text-align: center;"> <h3>二酸化炭素排出量(LPG・灯油)</h3> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標 前年 1kg-CO₂/百万円削減</td> <td>7.562</td> <td>8.041</td> <td>8.550</td> </tr> <tr> <td>LPG・灯油 kg-CO₂</td> <td>8.122</td> <td>8.636</td> <td>7.515</td> </tr> <tr> <td>完工高 百万円</td> <td>209</td> <td>262</td> <td>292</td> </tr> </tbody> </table> </div>		2015年	2016年	2017年	目標 前年 1kg-CO ₂ /百万円削減	7.562	8.041	8.550	LPG・灯油 kg-CO ₂	8.122	8.636	7.515	完工高 百万円	209	262	292
	2015年	2016年	2017年																
目標 前年 1kg-CO ₂ /百万円削減	7.562	8.041	8.550																
LPG・灯油 kg-CO ₂	8.122	8.636	7.515																
完工高 百万円	209	262	292																

6. 環境目標の実績

(1) 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況

重点項目	目標	実績	比較グラフ																				
産業廃棄物のリサイクル率	70%	86%	<p style="text-align: center;">廃棄物排出量及びリサイクル率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 廃棄物総量 t</td> <td>30.86576</td> <td>44.1</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>■ 廃棄物のリサイクル排出量 t</td> <td>25.55</td> <td>39.3</td> <td>38.6</td> </tr> <tr> <td>● 目標値 産廃総量の内 70%超 t</td> <td>22</td> <td>31</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>● リサイクル率</td> <td>83%</td> <td>89%</td> <td>86%</td> </tr> </tbody> </table>		2015年	2016年	2017年	■ 廃棄物総量 t	30.86576	44.1	45	■ 廃棄物のリサイクル排出量 t	25.55	39.3	38.6	● 目標値 産廃総量の内 70%超 t	22	31	32	● リサイクル率	83%	89%	86%
	2015年	2016年	2017年																				
■ 廃棄物総量 t	30.86576	44.1	45																				
■ 廃棄物のリサイクル排出量 t	25.55	39.3	38.6																				
● 目標値 産廃総量の内 70%超 t	22	31	32																				
● リサイクル率	83%	89%	86%																				
事業所の節水		節水に努める	<p style="text-align: center;">総排水量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 水使用料(上水) m³</td> <td>~170</td> <td>~145</td> <td>~180</td> </tr> <tr> <td>■ 総排水量(下水) m³</td> <td>~170</td> <td>~145</td> <td>~180</td> </tr> <tr> <td>● 一人当たり使用量 m³</td> <td>~15</td> <td>~15</td> <td>~15</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2015年	2016年	2017年	■ 水使用料(上水) m³	~170	~145	~180	■ 総排水量(下水) m³	~170	~145	~180	● 一人当たり使用量 m³	~15	~15	~15				
項目	2015年	2016年	2017年																				
■ 水使用料(上水) m³	~170	~145	~180																				
■ 総排水量(下水) m³	~170	~145	~180																				
● 一人当たり使用量 m³	~15	~15	~15																				

6. 環境目標の実績

(1) 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況

重点項目	目標	実績	比較グラフ																
環境にやさしい省エネ機器の提案達成率	98%	100%	<p style="text-align: center;">環境にやさしい省エネ機器の提案達成率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境にやさしい高APF機器の提案</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>受注件数</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>達成率 %</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		2015年	2016年	2017年	環境にやさしい高APF機器の提案	70	70	65	受注件数	70	70	65	達成率 %	100%	100%	100%
	2015年	2016年	2017年																
環境にやさしい高APF機器の提案	70	70	65																
受注件数	70	70	65																
達成率 %	100%	100%	100%																
化学物質使用量 フロンガスR22	503 kg	353 kg	<p style="text-align: center;">化学物質使用量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>フロンガスR22 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>353</td> </tr> </tbody> </table>	年	フロンガスR22 (kg)	2015年	400	2016年	500	2017年	353								
年	フロンガスR22 (kg)																		
2015年	400																		
2016年	500																		
2017年	353																		
グリーン購入の推進		配慮																	

7. 活動計画の取組結果

重点項目	環境活動取組の内容	活動内容の評価	次年度の取組
購入電力削減	空調機(EHP)及び空調の管理を徹底する(適温化、運転時間、保守点検、等)	○ 季節によって適正温度、運転時間等が定められており、社員全員が認識し守られている。	今年度の取組内容を継続し、日々削減できる取組みを社員各々おこなっていく
	「ブラインド」を効率良く使用し室内温度の適正化を図ると同時に事務所内の明るさをも考慮していく	△ ブラインドを上手に使用し、事務所内温度の適正化及び照明の共有も同時に図っている	
	PCの効率良い使用、帰宅時主電源OFF	○ 主電源は帰宅の際は必ず切られている。	
	事務作業の効率化、分担を図る	○ 事務作業の効率化は随時行われており、PCの効率良い使用にもつながってきている。	
化石燃料削減	エコドライブを推進する	△ 長時間にわたる停車(駐車 という概念)に当てはまるときは、エンジンを切ることを心がけることを呼びかけてきた。	上記同様今年度の取組内容を継続し、日々削減できる取組を社員各々おこなっていく。
	会社・現場間の往復において「ついで」の用事、作業を細かく行っていく	○ 現場に向かう前の準備を怠らず、最低限の車両にて現場へ行くことを心掛けた。	
	現場への相乗り	○ 同上	
	自転車通勤の推奨	△ 社員各々が健康の為にとできる限り自転車通勤を行っているものもある。	
	空調機(GHP)及び空調の管理を徹底する(保守点検、適温化、運転時間等)	○ 季節によって適正温度、運転時間等が定められており、社員全員が認識し守られている。	
	「ブラインド」を効率良く使用し室内温度の適正化を図る	○ ブラインドを上手に使用し、事務所内温度の適正化も同時に図っている	
	電気ポットは使用せず、魔法瓶の特性を生かした使用に心掛ける	○ ヤカンでお湯を沸かし、屋に補充・再沸騰させている	
産業廃棄物のリサイクル率向上	産廃の分別の徹底	△ 先輩社員の指導の効果が表れてきていると思われる。現場、社内それぞれにおいて、社員各々が分別を意識し、間違いが発見された場合はその場の指導がすぐに行われている。	今年度の中でまだ改善できる余地は残されているという意識で更にリサイクル率の向上を目指していく
	種類別の分別箱の設置	○	
	現場で廃材等を分別する	○	
事業所の節水	元バルブを絞る	○	今年度の取組内容を継続しておこなっていく
	垂れ流しをしない	○ 2層式洗濯機を使用しているため、最後のすすぎの水は残し、次の洗濯用として使用している。軍手、ウエス用タオル等作業で使用したものは、予洗いを先行ある程度まとめて洗濯を行っている。	
	洗濯機(2槽式)の効率的な使用をする	○	
	洗濯物をまとめて洗う	○	
環境にやさしい省エネ機器の提案	省エネ機器(高APF機器)への更新及び新規購入の提案	△ 現担当者は、メーカー担当者とコミュニケーションを密にし、あらかじめ自己の知識を深め、機器の更新、修理・保守点検等の際顧客へ分かりやすい適切なアドバイスを心がけている。	現担当者は、今年度の取組内容を継続しておこなっていく。同時に後進の育成も行う
	太陽光発電の推進	△	
化学物質使用量の削減(フロンガスR22)	機械の更新には多額の費用が発生し、2020年には生産が原則全廃されることを改めて説明し、設置先担当者との密な相談を行い機械の更新を行っている	△ なぜ更新をしなければならないのか? 作業担当者が根本的なことについて顧客にあわせた資料等を作成し、諸々ある問題点の解決策を顧客と共に考えた結果使用量の削減につながっている。	今年度の取組内容を継続しておこなっていくと同時に、フロン冷媒取扱技術者等の講習を受けていない社員にも最低限の知識を教える。顧客先には、義務化されたフロン類漏えい点検に基づく簡易点検について、機械所有者が行うべく点検項目、その内容、方法等をアドバイスしていく。
グリーン購入の推進	商品、備品及車両等の購入時はグリーン購入	○ カタログ等を参考にしグリーン購入を心がけてきた。	今年度の取組内容を継続しておこなっていく

その他取組結果の評価

全体的な環境活動の取組について、各個人の業務における中での活動はそれぞれ意識的に取り組まれており、各項目の評価は年々安定してきた。しかし社内全体見渡しての活動はまだ少し乏しいようにも感じられる。

例えば産廃の分別について、特に若手社員において意識の低さがみられる。今後も継続して気付いたその都度指導し、繰り返し説明を行っていく必要がある。

また社員各々が受け身でいるばかりでなく、積極的に関わりを持てるような環境を作り上げていく対策を同時に考えていかなければならない。

8.問題の是正処置・予防処置及びその結果

重点項目	問題点	原因	是正処置・予防処置	結果
購入電力削減	席を離れる際の照明の消し忘れ	つい・・・又はうっかり・・・等忘れてしまう	席を離れる際再度振り返る 各自が注意する	消し忘れが少なくなった 気付いた人が消している
化石燃料削減	今期は努力した結果が反映されている	—	社員一人一人の努力を継続していく 営業、現場責任者、現場作業員とがコミュニケーションを図り当日の作業内容をしっかり把握する	—
産業廃棄物のリサイクル率向上	社員の経験不足 ” 意識の低下	新入社員の増加 これ位なら混ざっていてもいいだろう・・・自分、周りへの甘え 分別する時又は処理ボックスへ入れる時経験が浅くても一人での作業が求められる時がある	OJTを日々繰り返しおこない、双方の認識の向上・経験不足を解消していく 廃棄物の一時保管場所を設置し、天候・隣近所への配慮をし、分別する種類ごとに廃材(ドラム缶等)を使用し分かり易い設置をする	金属類の混在が減ってきている 産廃業者の回収時の注意事項がほとんどなくなった
事業所の節水	洗濯機の効率的な使用ができていない	2槽式洗濯機を使ったことがない	使用方法の説明を先輩社員が都度行っていく	最終のすすぎの水を溜め水として残し次の洗濯に使っている
環境にやさしい省エネ機器の提案	説明できる社員が限られている	相互に自覚がない(教えよう、教わろう、覚えよう) 教えられた側が疑問を持たない(何故だろう?)	メーカーのカタログを提示し、環境に配慮した省エネ機器であること更にランニングコストからみた電気代の削減につながることを担当者自らの言葉でも説明をおこなう。 後進育成のために、現在月1回行われている現場作業員全員が参加する技術会議での指導、先輩社員が若手社員を顧客先との商談に同席させる等の教育をおこなう。	まだ出ていない
化学物質使用量の削減 (フロンガスR22)	機械の残存台数も多く更に機械自体が相当年数経過しておりフロンガスの漏えいが十分考えられる	業務用のタイプがほとんどであり、更新費用がかかる R22がオゾン層破壊につながっていることを知らない(オゾン層の保護、地球温暖化防止)	義務化された「フロン類の漏えい点検」を実施していくと同時に、機器の所有者が行うべく「簡易点検」の方法をアドバイスしていく 相手に合わせた資料を担当者自らが作成し更新をすすめていく	ガスの補充が減った 更新に向けた計画を共に考え、更に顧客との話し合いの中で自身の濃い話につながることも多々あり相乗効果も生まれている

9.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 当該環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟等は、過去3年間ありません。

(2) 環境関連法規制等一覧表／遵守状況確認表

作成： 二栗

No.	法規制等名称	遵守事項	資格/許可	適用を受ける設備、活動等	担当	確認
1	フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・冷媒用フロンの回収、破壊措置 ・届出(静岡県、愛知県、山梨県等) ・冷媒フロン回収技術者 ・年次報告書、帳簿類の発行及び保管 ・冷凍空調機器の簡易点検・定期点検の義務化 ・漏えいを発見した場合には、速やかな漏えい個所の特定及び修理を実施 ・機器の点検・修理やフロン類の充填・回収等の機器整備に関する履歴の記録・保存義務 ・算定漏えい量の報告 ・機器を廃棄する際は、フロン類を回収しなければならない 	許可No. 個人資格	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍、空調設備の工事、修理、更新時 (対象:顧客先、自社空調機) ・冷凍、空調、冷却設備の保守点検 (対象:顧客先、自社空調機) 	事務局	3月1日 各県の環境部の報告書により確認 現場及び整備記録簿にて確認
2	高圧ガス保安法	高圧ガスの取扱いの事前届出、管理	許可No.	<ul style="list-style-type: none"> ・フロンガス ・LPG ・高圧ガス(酸素、窒素、炭酸ガス、アセチレン) 	事務局	3月1日 管理台帳により確認
3	消防法	消防法危険物の事前届出、管理	乙種	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンオイル ・クーラント ・灯油 	事務局	3月1日 確認
4	廃棄物処理法	<事業系一般廃棄物>		・事務所の廃棄物	事務局	3月1日
		<産業廃棄物>		・工事、修理、更新時の廃材	事務局	委託業者からの伝票にて確認
5	化学物質管理促進法 ・SDS制度	有害又は有害の恐れのある化学物質の適正管理		・フロンガス	事務局	3月1日 確認
6	オゾン層保護法	・特定物質(フロンガス等)の回収、破壊	許可No. 個人資格	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍、空調設備の工事、修理、更新時 ・解体工事 	事務局	3月1日 回収報告書にて確認
7	建築基準法	<ul style="list-style-type: none"> ・換気設備の義務化 ・アスベストの撤去 	個人資格	<ul style="list-style-type: none"> ・空調、換気設備工事及び改修工事 ・解体工事 	事務局	3月1日 現場にて確認

10.環境上の緊急事態の想定、予防策

(1)発電機の取扱いに関する環境上の対策・予防措置について

原因	予想される緊急事態	対策・予防措置等
取り扱いが不慣れ 部品の劣化 給油時に慌てる	燃料及び潤滑油の漏洩	操作手順書を用意 定期的に点検 焦らず行動、吸着マットの設置
社内		操作及び取り扱いの指導

(2)研修内容

<ul style="list-style-type: none"> ・実施日 ・場所 ・参加人数 ・研修内容 	2018年2月1日 当社 15名 発電機の取扱いに関する環境上の対策・予防措置について 今年度は停電時と建築現場での発電機の使用の際、油の漏洩を想定した訓練を実施した。普段使用しない社員に使い方を指導した。点検はひと月に1回行うことにし、各社員がローテーションで行うことで認識を深め、油の漏洩防止に努めることとした。また、発電機を使用する際は、燃料漏れ等が環境を阻害する恐れがあることを念頭に置き、吸着マット等を準備し地面や水面に流失したときは表面に浮いた油を吸着させることを指導した。
---	---

11.代表者による全体の評価と見直し

見直し 関連情報	項目	確認	(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>
2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	レポートに記載いたしました。
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載いたしました。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	別紙報告の通り
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input type="checkbox"/>	
8	その他()	<input type="checkbox"/>	

2 代表者による 全体評価・ 見直し指示	<p>全体評価</p> <p>今回で認証取得（2008年6月13日）第5回更新審査を迎えることになり環境意識の高まりを感じております。特に空調・冷凍設備の我が業界では、オゾン層破壊問題で深刻であり、早くから適切なフロンガス回収、破壊処理活動を実施して全社員が義務業務活動ととらえ、回収機、関連工具を常備、第1種フロン類回収事業登録認定（静岡県、愛知県、山梨県）3県、毎年の回収量、破壊量等の報告も定着している。</p> <p>今後も、エコアクション21での環境科目の取組も10年間の経験を活かし、少人数ながらも環境意識の高まりを感じております。</p> <p>さらに今後も工夫、知恵、考動で取組を期待し、全社員にご苦労さん</p>
	<p>見直し</p> <p>エコアクション21の取組は、全社員全員での取り組みが基本と考えている。しかし、少人数の我が企業では、永年勤続者が在職いただいている反面、若年者の入退社により、若干意識が薄れている場面を感じ、解決策として取得時に振り返り、講師を招いての研修会を開催を今年度中には実施したい。</p> <p>なお、管理担当の役割の明確化により体制強化を指示</p>

2018年3月31日
東海冷熱工業株式会社
代表取締役 辻村 勝

見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1 環境方針	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
2 環境目標	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
3 環境活動計画	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
4 環境に関する組織	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	各担当者の役割の確認と明確化
5 その他のシステム要素	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
6 その他(外部への対応)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	